

交渉NEWS

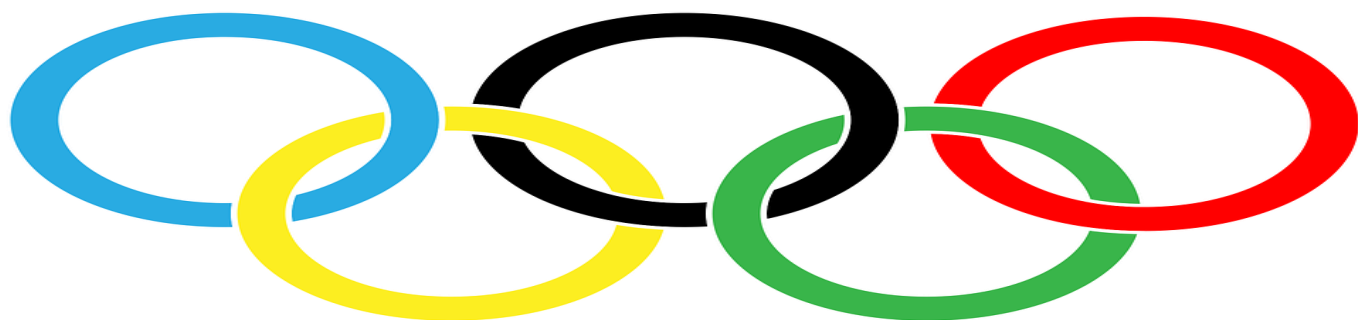
東日本ユニオン東京地本 NO,40 2021年 7月27日

申第6号「東京2020オリンピック・パラリンピックに関する申し入れ」に対する支社回答

2021年5月18日に東京支社に申し入れた、申6号「東京2020オリンピック・パラリンピックに関する申し入れ」に対する東京支社の回答が、7月19日に示されました。

東京2020オリンピック・パラリンピック組織委員会において「無観客開催」「臨時ダイヤでの列車運行」などの意思決定がずれ込んだために、JR 東日本本社ならびに東京支社はギリギリまで待つために申6号に対する東京支社回答は、東京支社担当者と東日本ユニオン東京地本担当者と協議し「紙面回答(交渉なし)」の7月19日となりました。

支社回答の趣旨は、①「新型コロナウイルス感染症には、グループ会社とも連携・情報共有し必要な対応を行っている。」②「勤務については就業規則に則り取り扱う」③「エキサポーターに対しては必要な対応を行う。」④「夜間作業に関しては保守間合いに応じた作業などを計画する」というものでした。



アスリートの方々の活躍は私たちに感動となって伝わり、命・平和・多様性などについて改めて考える課題と時間を提起しています。

エルダー社員となってグループ会社で働く仲間に昨年3月から“マスクが配布されない”という現実を東京支社には何度となく訴えてきましたが未だ改善をされていません、支社回答にあるように「グループ会社とも連携・情報共有している」という認識であるとしたなら『改善される』はずなのですが、ここまできるとこのグループ会社は意図的に“マスク配布を行わない”としているのではないかと、経費節減で感染予防対策を“怠っている”と指摘せざるを得ません。

ご自愛ください！

8月開幕のパラリンピックは、「観客を入れて行う！」とおっしゃる方々もいらっしゃいます。エキサポーターは実施するが現在のところJR 東日本の基本路線です。東京支社に申6号回答を社員と家族の幸せのために手落ちなく実践することを改めて強く要請します。

オリンピック・パラリンピックに関しての気がかりや疑問点に放置せず職場から発信していきましょう。感動を“ひと時”のものに終わらせることなく、私たちの成長に活かしていきましょう！